

「第3回大分市子ども・子育て会議」で出された主な意見

- 1 日時 平成26年1月28日(火) 13:30～15:20
- 2 場所 大分市保健所 6階 大会議室
- 3 参加者 委員18名参加（欠席委員1名）

4 委員からの主な意見と事務局回答

【議事（1）前回の各委員からの質問や意見について】

委員からの質問・意見	事務局回答
○事務局回答に「委員の皆様方からも御意見をいただきたい。」とあるが、どのような場で意見を述べていけばよいか。またそれをどこで反映させていくのか。	・今後示す予定である「大分市子ども・子育て支援事業計画」策定に向け、意見を反映させていく。
○今回示された計画の名称は、「（仮称）すくすく大分っ子プラン」となっているが、第1回で示されたものは「（仮称）子どもすこやかプラン」であった。どちらでいくのか。	・委員の皆さんで計画の名称を決めていただくように事務局より提案する。その上で、アンケートを依頼し、その調査結果をもとに新計画の名称を考えていく。

【議事（2）「（仮称）すくすく大分っ子プラン」の策定について】

委員からの質問・意見	事務局回答
○子ども・子育て関連3法に基づく事業計画の具体が示されていない。いつごろ示されることになるのか。そうした事業計画の具体を協議するうえでも、専門部会の必要性を感じるが。	・今回示す「（仮称）すくすく大分っ子プラン」は、「子ども・子育て支援事業計画」と子ども条例に基づく計画を一体化したものである。4回目、5回目の子ども・子育て会議の中で具体を示していくことになる。
○大分市は、法定計画と独自の子ども条例に基づく計画を策定するということだが、法定事業は、下回ってはならない。それをどのように担保するのか。	・現在、国においても「子ども・子育て会議」を設置し、制度の具体について議論を進めている。この動向を見ながら、さらには、ニーズ調査結果等の分析も行いながら、市としての事業計画案を示していく。時期としては、4回目、遅くとも5回目には、量の見込みについて示していきたい。
○国が示すものを上回った計画を策定していくといえるか。その担保は。	・国が示す法定事業と子ども条例に基づく事業計画を網羅していくものであり、担保されるものである。
○ミックスしているから、見えにくいということもあるのでは。事業計画の示し方に工夫が必要と考えるが。	・子ども条例として大きく総論的なものがあり、その中で、子ども・子育て支援事業計画があると考えます。

<p>○国が、最低限の内容について示すものに、例えば待機児童の解消があるが、これをどのように計画に反映させていくのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国の動向を示すとともに、事業計画の内容においては、目標3の乳幼児期についての中で示すことになる。具体については、4回目、5回目で審議することになる。
<p>○国の会議の中では、DVに関する項目が示されているが、市では示さないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援センターで児童虐待についても、DVについても取り組んでおり、計画に盛り込んでいきたい。
<p>○資料3「概要」の「個別事業」と書いているところに「子ども・子育て支援事業計画」と示せば、わかりやすいのでは。</p> <p>○国の法定事業については、分かりやすく示すなど、提示方法の工夫をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は示していないが、9つの目標ごとに、個別の事業が示されるわけで、この事業計画も、その個別の事業である。

【議事（3）大分市の子育て環境について】

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○資料4の1ページに記載している回収率に対する市の見解と、障がいがある子どもがいる家庭等の意見は反映されているのか。もう1点は、8ページの基本目標3「ワークライフバランスの意識の醸成」の項目が平成20年度に比べて下がっているが、この結果を受け、新計画にどのように反映させていくのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいがある子どもがいる家庭の意見、要望等については、1月に通所施設へ通われている保護者への聞き取りを行っている。 ・ワークライフバランスについては、新計画の目標9「仕事も子育ても楽しむ」のうち施策①に「仕事と家庭生活の両立支援」として項目を設け、推進していく予定である。 ・有効回答率は、対象世帯の1割を超えており、当初の目標を達成したものと考えている。
<p>○第1回目の資料がよくまとまっており、これから示すであろう「量の見込み」や「確保の方策」等については、今回の、資料4,5のデータが重要な資料となる。例えば、何歳児は何名程度の保育ニーズがあるなどの歳児別のデータ等の分析が必要となる。その他、市として、13事業のうちどの事業に重点を置いて取り組むのかなども考慮していく必要がある。大変だろうが、4回目、5回目では、このような数値を根拠とした具体の計画を出していただければと思う。</p> <p>○数字を落とし込んで、事業計画の策定をお願いする。</p>	

<p>○仕事と子育ての両立支援に関し、昨日のテレビでもあったように、近年、離婚等によるシングルマザーが多くなっているようであるが、市の実態はどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新計画の目標7の施策②に「ひとり親家庭の自立促進」を設定し、事業に取り組む予定である。現状については、現在、児童扶養手当受給者を対象に調査を行っている段階である。
<p>○資料3のどこに、資料4,5の数値の裏付けが示されているのか。また、現在調査中のものは、資料3のどこに反映されることになり、さらには、行政データをどこに反映させようとしているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども・子育て支援事業計画」については、ニーズ調査を元に策定を考えている。また、未調査である障がいがある子どもがいる家庭のニーズや中高生の意識調査などを集約し、次世代育成支援行動計画の評価指標一覧に基づき、足りない部分等について、個別の事業として取り上げていく予定である。これらは、4回目、5回目の会議の中で示していく。 ・資料3で示したものは、あくまで全体のイメージであり、4回目、5回目の会議の中で、具体的な計画、事業等を示していく。
<p>○4回目、5回目で具体を示していくということであるが、量の見込みと確保の内容に合わせて、実施時期も示すことになるのだが、27年度から年度毎に示すことになるのか。</p> <p>○資料2で示しているイメージでは、28年度もまだ待機児童0とはなっていない。イメージとして提出する数字にも配慮が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2の2ページの（イメージ）でも例を示しているように、各年度毎に示す予定である。
<p>○資料4の問10-6からは、多くの世帯が3歳から幼児教育・保育を希望し、問29からは、その教育・保育内容に満足しているが、不満に思う内容として、保育料（使用料）等が上げられている。新事業計画では、保護者負担の軽減についても考慮すべきと考える。</p>	

【全体を通して】

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○資料3「(仮称)すくすく大分っ子プランの概要」は、イメージを示すものとあったが、イメージの後ろには、(法定事業には何々があり、市独自のものとしては何々がある。それらの根拠となる指標は何々であり、今調査中のものは何々がある。)等を、委員に明確に示す必要があったのではないかと。</p> <p>次回、新計画の具体を示していく場合は、市民ニーズをどのような調査で行い、そのデータからどのような事業に取り組むべきと考えている、といったものを示してもらいたい。</p>	